

東稿ニュース 早稲田大学校友会東外留米稲門会

平成27年 7月10日発行 発行責任者 安次峰暁 編集責任者 別処尚志

E-mail:satoru_ajimine@hotmail.co.jp http://homepage2.nifty.com/35292/

会の告知板

【部会予定】

7月15日(水)	女性サークル 第2回読書会「古事記」	10:00	中央町地区センター
7月19日(日)	第 180 回 俳句部会句会	13:00	場所未定
7月25日(土)	カラオケ部会 (カラオケを楽しむ会)	19:20	オンチッチ
8月 2日(日)	第2回役員会	16:00	生涯学習センター
9月24日(木)	映画鑑賞会「我が谷は緑なりき」	14:00	成美教育文化会館
10月12日(祝)	秋の旨いもの会		成美教育文化会館
【大学・校友関係】			
7月 4日(土)	早稲田大学商議員会	14:00	大隈講堂
8月30日(日)	東京三多摩支部会長会		狛江エコマルホール
9月26日(土)	校友会代議員会		大隈講堂
10月15日(木)	ワセジョ落語会(早稲田大学文化推進部主催)	18:00	大隈講堂
10月18日(日)	2015 稲門祭		

新役員紹介

今年度は当会の役員改選期にあたり、4月26日の総会において新役員体制となりました。安次峰会長、河村、渡辺、別処の3副会長、高橋事務局長、および14名の役員は留任ですが、藍原副会長と、森田、大島、伊東、橘、菊池の各役員が退任となりました。お忙しい中繁多な役割をお勤めいただきありがとうございました。お疲れ様でした。

そして新たに6名の会員が新役員に就任しましたので、それぞれ以下に自己紹介をお願いしました。 今後のご活躍を期待いたします。(50音順)

片平 るみ (51年文)

三匹の猫と夫と共に、この地に越してきてから一年が過ぎました。 大学時代の一時期、歩行会(あるこうかい)に所属していた私です から、湧水ウオッチング、東久留米七福神巡り、たての緑道、自由 学園見学、柳窪古民家巡りなどに早速参加し、東久留米 love に日々 磨きがかかっています。

年間 250 冊は読む、読書大好き人間でもありますので、二つのひばりヶ丘図書館が利用できるのも嬉しいことです。近頃は、古いミシンを引っ張り出し、昨年生まれた初孫にレースやフリルの沢山ついた洋服を縫うことも楽しみの一つです。

中学受験指導の仕事を始めて、25年がたとうとしています。この 仕事をできる限り続けつつ、現在参加している俳句部や女性サーク ルの他にも、機会を見つけて色々な活動のお仲間に入れていただき たいと思っております。どうぞ末永くよろしくお願いいたします。



鈴木 則子 (48年文)

私は静岡で生まれ育ちましたが、縁あって5年ほど前に東久留米に居を構えました。東久留米は適度 に田舎で住みやすく、適当に都会で便利なところだなと感じています。第一文学部英文科卒業後、銀行



勤めを経て結婚しました。専業主婦で1男3女の4人の子供の育児と家事にあけくれておりました。毎日、早く子供たちに大きくなって欲しい、自分の時間が欲しい、と願ってきましたが、いざ子供たちの手が離れると、心に大きな穴があいてしまいました。気が付かないうちに、子供に自分の人生のほとんどを依存していたんだなと思いました。楽しいはずの子離れが、新しい苦しみを生みました。その苦しみから逃れるため「なんでその年で」と反対されましたが、2年ほど前に東久留米駅前に英会話スクールを開校しました。今、スクールの子供たちの未来に思いを馳せ、生徒の皆さんの夢を応援し、また自分も成長し学ぶ場を与えられました。これからも挑戦し、前進する気持ちを持ち続けたいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

長東 輝夫(50年政経)

(なつかてるお)です。よろしくお願いいたします。メモ的に自己紹介させて頂きます。

- ▼東久留米在住歴:37年間。うちサンパウロに家族と5年半。南魚沼市に単身赴任6年後、現在は南魚沼の勤務先に行き来の日々。▼入会の動機と経過:「いずれは生活の軸足を地元に」と思うも知己少なし、早稲田大好き、ならば東久留米稲門会へ。2年前の61才時に初参加、以後、総会・新年会・ゴルフ部会・旅行同好会に可能な範囲で参加。
- ▼入会しての感想:「入ってよかった!」、「正に早稲田人は多士済々」、「アクティブシニアの楽しい集い」、「男女を問わず飽くなき好奇心と向上心の固まり」、「愉快に勉強」、ご厚誼を深めさせて頂き感謝申し上



げます。▼プロフィル:生まれ育ちは高校まで仙台市。幼少より、やんちゃ坊主、野球少年、中・高はバスケ、現在はスキー好き。子供2人は独立、現在は母と妻との3人暮らし。▼会に対して:「何を期待するか?」ではなく、「何が貢献できるか?」を微力ながら実践してまいりたく存じております。

宮井 威(56年商)

56年・商卒の宮井です。東久留米市の南西に位置する滝山に住むようになって 20余年が経ちました。 本会への参加は3年ほど前のことでしょうか。きっかけは、娘が早稲田に入学したことでした。それ以



前からもぼんやりと「サラリーマンをリタイヤしたら」とは考えておりましたが、何とはなしに背中を押されて予定が早まりました。

今のところはまだゴルフ部会に何度か参加させていただいている程度です。それでも三田会との定期戦はやはり特別な感じがします。小宅の財務長官は「いまだにライバル意識があるの?」と珍しいものでも見たように宣いましたが、「そうだよ。多分一生ね」と軽くいなしておきました。

この度は役員を仰せつかり光栄です。まだ本格参戦とはいきませんが、事情の許すかぎりお手伝いさせていただきたく思います。どうそ宜しくお願いいたします。

山口謙二(49年政経)

出生地は北海道で、上京一旗組の子孫。五反田氷川幼稚園⇒品川第一日 野小 (昭和 33 年当時は五反田にも原っぱありました) ⇒浅草千束小 (鷲 神社が遊び場) ⇒鶯谷忍岡中(小椋佳は先輩) ⇒都立豊島高校(学校群の 一期生:人生に甚大な影響ありました)。昭和49年卒業後製造業に就職し、 主に営業職でした。勤務地東京3回、名古屋4回、広島1回、現在は埼玉 加須市。

家族:家内1名、娘2名(内1名は結婚し)孫娘1名⇒女系家族だなあ。 東久留米には平成3年から在住。氷川台⇒金山町⇒浅間町(但し24年

の内、合計15年単身赴任してました)。趣味と言えるレベルに達している事とてなく、テニス・ゴルフ 少々。クラシックのCDを少しずつ集めていますが、家内からは「単身終了後それは何処に置くのです か?」問われ、頭悩ませております。

最後に: 賞罰 ナシ

吉田 清郎 (45年社学)

平成27年 新幹事になりました吉田清郎と申します。サラリーマン生 活35年は横浜支店を振り出しに川崎、静岡、浜松、沼津と転々とし10年、 東京本社 25 年(富山本社兼務)の生活を送り、現在は東久留米市浅間町 に住まいして25年になります。東京はそれまで荻窪南で10年住みました。 (東京在35年) 出身は富山県高岡市です。趣味は麻雀、テニス、ゴルフ 色々やりましたが、現在は海外旅行とB級グルメです。海外は出張の北京・ 上海・香港・シンガポール・ソウルは思い出がなく、自費で行った北欧・ ヨーロッパ・東南アジアが好きで特に台湾は20数回になります。言うな らばバックパッカーじじいです。今は 1 週間位の旅行しか出来ませんが、



73歳の定年後は長期(3か月)を考えています。時間のゆるせるかぎり稲門会に参画してまいりますの で、よろしくお願い申し上げます。

会の報告

- ◎4月25日(土) 東久留米三田会総会
- ◎6月14日(日) 西東京稲門会総会 安次峰会長、河村副会長出席

安次峰会長、別処副会長出席

- **◎役員会報告** 平成 27 年度第1回役員会が 6月7日(日)16:00~生涯学習センターにて開催された。 <議事録概要>
- 1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係:
- (1) 東久留米三田会総会及び西東京稲門会総会の報告。
- (2) 校友会本部発「自民党国会稲門会主催早稲田を語る会」等のイベント案内を、役員全員宛てメール 配信について、規約で禁止としている「政治活動」に当たるのでは、との懸念が表明されたが、事務局 が本部からの「お知らせ」をそのまま役員全員に配信することは、原則「政治活動」に該当しないこと を確認/了承。 10月 15日(木)18:00~「ワセジョ落語会」大隈大講堂にて開催の案内あり。
- 2. 平成 27 年度会員の状況:
- (1)5月末現在の会員数 139名(前年比△9名)、うち会費未納者 27名(前年度からの未納者 3名を含む)。
- (2) 会費未納会員への督促について一近日中に督促状送付、ポストマンがフォロー。
- 3. 現在の懸案事項:
- (1) ホームページ(HP)再構築について―村上案 (東村山稲門会 HP を参考にした当稲門会 web サイト構

築業務を専門業者に発注。現在の HP の内容も新 HP に取り込む。再稼働後の運用は委託せず会独 自で行い、サーバー使用料金のみ会で負担)を了承し手続きをすすめる。実行委員会等は設置しない。

- (2) 会計規則の作成一検討委員会(会長、副会長、事務局、会計、会計幹事)に一任。
- 4. 本年度の行事予定:
- (1) 10 月 12 日「秋の旨いもの会」—実行委員長は渡辺副会長 料理の役割分担は次回役員会で―講演は 國米会員に内容確認の上依頼。
- (2)1月17日 or23日24日「新年会」一実行委員長は別処副会長。
- 5. 稲門祭記念品の販売状況:目標14万円に対して17万4千円達成。
- 6. 組織強化補助金 20 万円の申請について (下記 4 要件の達成):
- (1) 稲門祭記念品目標達成。
- (2) 稲門祭へふるさと賞の寄付(昨年柳久保かりんとう18,000円程度)、商品は事務局へ一任。
- (3) 体育関係部への寄付5万円 (昨年応援部、一昨年スキー部)、今回はラクビー部へ。
- (4) 若手校友の招待―「秋の旨いもの会・懇親会」へ招待。 9月のポストマンで案内配付。
- 7. サークル・部会関係:
- (1) 女性サークル-6月より読書会開始(古事記)
- (2) ウォーキングー第50回記念ウォークの候補地募集
- 8. 次回役員会:8月2日(日)16:00 生涯学習センター 第5学習室

部会報告

<女性サークル>

今年度の第1回例会を5月11日開き、少し知的な活動をもと読書会をとり入れることにしました。 原則として月1回。8月は暑いので休会。テキストは、角川ビギナーズクラシックスの「古事記」です。 初回は、6月17日(水)10時より中央町地区センター。参加者6名。現代文の訳付きですので取りつきやすいのですが、原文の聞いたこともない漢語には皆戸惑ってしまいました。これからは日本の神話

第2回は、7月15日(水)10:00~中央町地区センターにて。

の世界に徐々に踏み込んでいこうと思っています。

河村洋子記

<旅行同好会>

第7回旅行同好会報告「常磐道とスパリゾート・ハワイアンズ」(5月 14日・15日)

~東日本大震災被災地応援ツアー第3弾~

「よく食べよく飲みよく喋りよく見てよく歩きよく学びよく眠る、幸せ」満喫の2日間

5月14日(木)6時45分、お酒1升瓶を差入れ持参の安次峰会長のお見送りを受け、男性10名・女性7名(内、ご夫妻3組)を乗せたサロンバスは市役所前を出発。外環・常磐道を経由⇒北茨城へ。

ここからは海岸線沿いに記念館や美術館など文化の宝庫を訪問。途中、ランチに大湊漁港直営食堂で「海鮮井」に舌鼓。史跡「勿来の関」と名所、塩谷岬を訪ね⇒福島へ。いわき市のスパリゾート・ハワイアンズホテル泊。天然温泉露天風呂とバイキング料理を楽しんだ後はフラダンスショーを満喫⇒15日(金)は日本三名瀑のひとつ、袋田の滝を見て那珂湊港の水産会社直営レストランで今度は「特上にぎり」で満腹。大洗港に移動し特大辛子明太子(これがまた思わず「ウヒョウー!」驚きの逸品)など海産物をショッピング。







スパリゾート・ハワイアンズでおそろいのムームーとアロハシャツを着て

市役所帰着 18 時。沿岸部では大 震災・大津波被害の爪痕が今なお残 るも防波堤工事や住宅建設が続いて いた。福島・茨城の一日も早い復興を 祈るばかりです。

主な訪問スポット

◆野口雨情記念館:館内には「青い眼をしたお人形は~」、「赤い靴はいてた女の子~」などの童謡が流れ、建物正面のモニュメントでは近づくとセンサー作動し、「シャボン玉飛んだ~」の曲と共に実際にシャボン玉が止めどなく吹き出され童心に帰った

ひととき。◆天心記念五浦美術館:岡倉天心や横山大観などの作品を鑑賞するとともに、青空の下、五浦海岸の入江と美しい松林、岩岸に押しては引く潮騒、大震災から再建なった六角堂や日本美術院跡地を見学し自然と芸術のアロマに六感が活性化した散策。◆塩谷岬:建設中の巨大防波堤の間をすり抜けて岬へ。塩谷岬灯台へ健脚活かし一気にひと登り。海辺には美空ひばりの「みだれ髪」のライブ奏でる石碑が。◆フラダンスショー:40名のフラガールが終始笑顔で一糸乱れぬ激しくも優美なダンスは圧巻。斜陽化した炭鉱から地域経済の再生を目指し「温泉レジャー施設」へ大転換した発想、当初は白眼視されたフラダンスを昇華した努力に敬意を抱いた。◆花貫渓谷:新緑目映い道の駅で女性陣は朝取り野菜の数々をお買い求め。◆袋田の滝:長さ約300mの観爆トンネルが整備され下から上から横から見学。自然が創った威容にオキシトシン出まくり。◆那珂湊:前述(ランチ・ショッピング)◆大洗港:前述(明太子工場見学)

|東久留米稲門会の「旅行同好会」の旅は、なぜ楽しい?…初参加で分かった秘密の数々

◆企画力と事前手配:「旅の達人」平山さんと探求心旺盛な井坂さんの名コンビによる周到な事前の計画と手配。◆随所に隠れた「おもてなし」:例えば最上のランチを最上のタイミングで戴けるよう旅の途中



からレストランへ確認電話の段取り、フラダンスを堪能できるよう指定席を事前手配、どこでも到着したら待たずに直ぐ入場できるよう先回りしてチケット購入等々。◆全員参加とチームワーク:例えば松崎夫妻は事前にインターネットで訪問先情報を調べ印刷。その資料を基に各訪問先到着 10分前から井坂さんが車内放送でブリーフィング。◆個の尊重:静かな眠りや読書する人に対し無理強いはなくマイペース尊重。◇初参加の感想:2日間ご一緒する中で沢山の方々との会話を通じ多くのことを学び知ることができた旅でした。東久留米稲門会創設メンバーの方々から設立来の興味深いお話を伺ったり、話しているうちに共通知人のことが分かったりなど、新たなご縁をいただきました。井坂部会長、平山さんはじめ旅行同好会の皆さんに感謝申し上げます。

<ウォーキング部会> 第 49 回ウォーキング部会報告

ウォーキングを楽しむ会(門前仲町から清澄、両国へ) 5月26日(火) 実施

季節のプランナーは早くも初夏の扉を開くようにさわやかな青空を用意してくれた。参加者 13名 (男性 8名、女性 5名) は門前仲町を出ると、そこはもう、どっぷりと下町情緒がただよっていた。すぐに 老舗「伊勢屋」が待ち受ける。深川めし弁当、おにぎり、煎餅、和菓子など所せましと並べてある。コンビニでお昼をと考えていたが、思わずここでほぼ全員が調達したようだ。

「門仲」から清澄通りを中心に両国へ向かう。伊能忠敬の銅像や相撲に関する石碑も多い富岡八幡宮、 参道に賑やかな商店が並ぶ深川不動堂などさすが門前町として栄えた門仲だ。緑が萌え出す下町、江戸

時代の名残りが凝縮された 下町は歩いていても飽きさ せることはない。

池波正太郎の時代小説にも登場する「仙台堀川」」の遊歩道を歩く。仙台堀川・・・なんと粋な名だろう。ツツジが最後の力をふりしぼって咲き、となりでは梅雨の主役、アジサイの蕾が次の出番を待っている。



清澄庭園を出ると両国に一歩近づく。芭蕉庵史跡展望庭園は隅田川と小名木川の合流点、水辺のパノ ラマが素晴らしい。勝海舟生誕地碑、芥川龍之介の文学碑を過ぎて赤穂浪士が討ち入りした本所吉良邸 跡だ。ここに立つと、あらためて吉良上野介の哀しみを思う。

礼儀作法のコーチングで当代きっての第一人者、吉良は時の権力と完全武装の大石以下47士と称す る権謀術数に、そして武士道にもとる方法で暗殺されたのだ。まさにテロそのものだろう。現代に置き 換てみれば分水嶺がみえてくる。悪役のイメージが増幅されすぎた吉良に同情する。

回向院を過ぎると間もなく両国だ。冷たい生ビールが脳裏をかすめ、心なしか足早になる。それにし ても女性陣の健脚さには舌を巻く。

相撲博物館、旧安田庭園、ここで解散となるのだが、なんと打ち上げには全員参加、浜焼きで盛り上 がる。ウォーキングはいつでも楽しいが今回はとびっきりだ。 大島勝典記

<野球早慶戦観戦部会>

5月30日(土) **早大優勝!**

神宮球場はいつだって胸をときめか させてくれる。6季ぶりの優勝が迫る 今季のワセダ。昨年は春秋ともに早慶 戦で勝てば優勝の場面で涙をのんだ。 今季もあと1勝で、という有利な状況 だが・・・。昨年のようなこともあり 若干の不安が頭をよぎる。

抜けるような5月の空の下リベンジ を胸に集まった5人は神宮球場に向う。 途中あの立派だった国立競技場はすっ かり姿を消していた(ああ、もったい



神宮球場内野席で

ない)。 球場は3万4千人の大観衆だったが菱山さん(娘さん)の計らいで招待券をいただけたので席を確 保することができた。



点数が入るたび何度も「紺碧の空」がこだまする。見事に懸念を振り払い 待ち望んだ歓喜の瞬間、4-0で快勝・・・見事優勝だ。大竹投手(2年)の緩 急をつけた投球が素晴らしかった。

久しぶりの感動の余韻にひたって球場を出た5人に神宮の森の程よい風が ここちよく熱気をさましてくれる。勝利の美酒に酔ったのは言うまでもない。 (リーグ完全 V に続き、全日本大学野球選手権でも優勝した。強いぞ、今年 のワセダ。) 大島勝典記

<ゴルフ部会>

春シーズンのコンペ結果は次の通りです。さいわいに天候に 恵まれ無事開催できました。

- 1 稲門例会:5月11日(月) 熊谷 GC 11名参加。優勝は 上原さんがグロス 85、ネット 74 で順当な優勝。準優勝は初参 加の金子孝司さんでグロス 89 という好スコアーで回り今後の 活躍が期待大の鮮明なデビュー。3位は東海さんでした。
- 2 第23回東久留米三田会との対抗戦:6月5日(金) 熊谷 GC 稲門会12名、三田会9名、合計21名(6組)参加。個人戦





稲門会・三田会共通の帽子を着用の21名の精鋭

は当会の小野さんがグロス 103、ネット 71 で対抗戦 2 度目の優勝、2 位も当会の平山さんがグロス 97, 3 位は三田会の山田さんでした。両会ネット上位 6 人の合計で競う団体戦は 16 ポイントの大差で稲門会が圧勝。当会は3 連勝を飾りましたが通算戦績はまだ9 勝 13 敗 1 分けと劣勢です。初参加の金子さんに下記の通り記事をお願いしました。 伊東 毅記

「稲門会に入会しました」

金子孝司(49年 理工)

6月に41年勤務した会社を定年退職になりました。勤務していた会社が近隣のため、酒を飲んだり、ゴルフをやったりする仲間は近くにいましたが、東久留米には平成元年より27年間住んでいるが、地域での仲間はひとりもいませんでした。仲間づくりのきっかけとして稲門会に入会するのが良いと考えていました。しかし、海外駐在、地方での勤務と東久留米を離れていたため、定年退職したら入会しようと決めていました。

ついにその時になり、まず 4 月の総会、懇親会に参加させていただきました。当然ながら顔見知りはひとりだけ、大半が先輩でした。その中でどうしたら仲間に入れていただけるかと思い、好きなゴルフの部会に入会しようと、「ゴルフやりたいのですが」と近くの方に話し会長の伊東さんを紹介していただきました。早速、5 月 11 日(月)のコンペに誘っていただきました。平日で会社のある日だとは思ったのですが、会社は残り 1 $_{7}$ 月、稲門会のつきあいはこれからで優先すべきだと都合のよい理由をつけて、コンペに参加しました。

コンペ当日、初めての方々で緊張しましたがデビュー戦としてはまずまずのスコアで2位になりほっとしました。続けて6月5日には三田会との対抗戦に参加しました。前回の結果が良かったので期待されましたが、稲門会の勝利には貢献できませんでした。その後の三田会の方を交えての懇親会も盛り上がり、地域デビューできたと思っています。

ゴルフの他にも囲碁、山歩き、ウオーキングなど好きなので部会に参加させていただき、楽しいセカンドライフを送りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

<囲碁部会>

☆オール早稲田囲碁祭が6月6日(土)に、市ヶ谷の日本棋院で行われました。早大囲碁部から女流棋士になった下坂美織二段が指導碁に参加するなど、盛況裡に終始しました。

囲碁祭はA~Eクラス各5名の団体戦と、級位の個人戦で、クラス分けは出場5名の段位数合計で決められます。東久留米稲門会からは、毎回Aクラスに出場していましたが、今年度は部員の体調不良、その他不都合が多発し参加者が不足して、西東京稲門会との合同チームとしてBクラスに出場しました。

西東京稲門会とは、毎月の研修会で手合せをしており、チームワーク不足とも思えませんが、第8位という不満足な成績に終わりました。次年度のオール早稲田囲碁祭には気合を入れたいと思います。

☆今年度の第 15 回稲穂会囲碁大会は、稲門祭囲碁大会として、稲門祭当日の 10 月 18 日(日)に開催されることになりました。稲穂会は、例年9月に実施され、無差別及びA~Eクラスに早大現役の囲碁部員も若干名参加して行われる個人戦ですが、今年は稲門祭イベントの一つとして行われます。春の早稲田囲碁祭の不調をカバーしておお、オツリがもらえるよう、秋の稲門祭を頑張りたいと思います。



オール早稲田囲碁祭対局風景

上は下坂美織二段による指導碁

☆オール早慶囲碁大会が12月5日(土)に行われます。本大会は首都圏OBに広く定着した感があって、 参加者も両チームともに百数十名を数え、早慶戦の名にふさわしい大会になってきたようです。この相 手に勝利の座を譲るわけにはいきません。 苅草正守記

特別寄稿

東久留米で環境保全活動 15 年 ~稲門の先達に導かれて~(3)

佐藤 雄二 (37年 理工)

■歴史に登場した柳窪とその見学会

慶応2年(1866)6月、全国的な冷害凶作などによる諸物価高騰で困窮した農民等により各地で「打ちこわし」が発生しました。その最大のものが「武州世直し一揆」です。秩父上名栗から起こり、次々と分派して瞬く間に関東一円に広がり1週間で参加者10数万人にも達する規模になりました。その一派数百人が6月13日柳窪を襲って打ちこわしを始めた時、田無の代官所などから駆け付けた農兵隊の鉄砲の威力で粉砕されたのでした。

平成16年、NHKの大河ドラマ「新撰組」に関連して小金井公園の江戸東京たてもの園で「幕末の江戸と東京」という展覧会と、その関連の6回連続の講演会が催されました。展覧会では会場の床いっぱ

いに多摩川沿いに行き来する新選組の動きとともに柳窪で行われた所沢方面からの一揆勢と田無などからの農兵隊の戦いが描かれていました。この「武州一揆と農兵隊」が講演会第3回目のテーマでした。その時の打ちこわしの対象となった柳窪の2軒の村野家(注)の主屋にはその傷跡・補修跡が生々しく残っています。(注 本家村野家「あがっと」主屋は後に所沢に移築され柳瀬荘黄林閣として国の重要文化財となって現存し、分家村野家「天神前」主屋は茅葺きのまま原位置に現存)



東京中から100人前 後のこのテーマに関心 を持つ人がすぐ近くの 小金井に集まるのだか らこの際柳窪の見学会 をしよう、と大急ぎで 企画し、講演会参加者 に呼び掛けたところ、 市内からも含め約90 人の参加者がありまし た (平成16年5月29 日・6月2日)。ほとん どの参加者は柳窪の歴 史の証人としての価値 のほか、屋敷林、牛垣、 大型主屋、土蔵などの

織りなす景観のすばらしさ・魅力を讃え、改めてまた来たいという感想を述べていました。

これを機会に毎年春秋、自信を持って見学会を続けるとともに、3月に旧家に飾ったひな人形を見る会を4回、5月に旧家の大型鯉のぼりと武者人形を見る会を5回、なども実施し、延べ38回、3100人以上もの見学者を迎えています。なお、平成23年から登録有形文化財になった村野家単独の見学会も年4回ずつ行い、既に17回、1500人以上の参加者を迎えています。

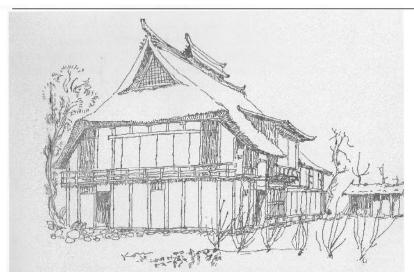
■今 和次郎の「日本の民家」と民家保存活動

今 和次郎(1888.7.10~1973.10.27)は東京美術学校卒業後すぐ早稲田大学建築学科に勤め、47年間 (1912~1959) 在籍し、助手から教授(続けて名誉教授)として活躍しました。 西東京市内(東伏見) に住み、大正6年(1917年)柳田国男等の白茅会のメンバーの一員として民家調査を始めました。

その後夏休みのたびに地方の民家を調べて回り、大正 11 年(1922)「日本の民家」を刊行しました。 民家研究の記念すべき書物として多くの読者に迎えられ、息長く版を重ねて 90 年にわたり出版し続けられています。また、考現学、生活学、家政学、服飾史など幅広い分野で活躍しました。(今和次郎集1~9、ドメス出版 総ページ数 4500ページ) 日本で初めての野外展示を伴う民族学博物館(昭和 14年(1939)~昭和 37年(1962))を西東京市保谷に設立した際に計画書づくり、展示民家の移築などに尽力しました。お墓が奇しくも小平霊園の東側、東久留米市柳窪 3丁目に属する芝生墓地の中(33-10-3)にあります。

東久留米の古民家を何とか保存活用しようという私たちの活動の出発点がこの「日本の民家」です。 具体的に、公の支援を受ける申請のための図面作成、基礎調査を3年間(平成19~21年)、日本女子大 学住居学科鈴木賢次研究室にお願いしました。その成果の一部は村野家住宅の登録有形文化財指定(平 成23年1月)の申請資料として生かされました。

また、平成25年までに講演会や市民自主企画講座を計5回実施しました



今和次郎の民家スケッチ:群馬・片品川沿いの民家(2) (今 和次郎集3「民家採集」より)

そのうち、平成21年10月・ 11月には「武蔵野の景観と民家 の歴史」を上記の日本女子大鈴 木賢次教授(早大博士課程昭和 53年修了、西東京市文化財保 護審議会会長)にお願いして実 施しました。

平成24年10月には「民家保存・活用のあり方について~今和次郎「日本の民家」刊行90周年に寄せて~」を建築史家稲葉和也氏(早大博士課程昭和43年修了、東久留米市文化財保護審議会会長)にお願いして実施しました。

なお、平成26年5月25日(日)

の稲門会 20 周年記念「ウォーキング」の際の小平霊園散策で野口雨情に続けてすぐ近くの今 和次郎の墓の案内と業績の紹介をさせていただきました。(東稲ニュース第77号、平成26年7月10日発行)

■これからの東久留米

魅力あふれる東久留米に住んで本当によかったと思います。この魅力を維持し更に向上させることを 目指して微力を尽くしてきました。その運動には稲門の大先達の導きがありました。この流れを今後も 維持発展させたいと心から願っています。次世代の皆さんの参画を待っています。 以上

<俳句部会>

5月 17(日) 第 178 回句会 於:生涯学習センター

兼題:「筍」、「立夏」、 **隆ろされて昼の風吐く鯉幟** 三田

菜園に支柱揃ひて立夏かな 藤田 夕空を田毎に映し立夏かな 片平

白服に少女羽化して今日立夏

竹の子やひと皮ごとに春を脱ぐ

りのすでいて及ことに本を肌く 〈 E

故郷の土連れて筍届きけり

うつすらと筍飯の焦げの色

朝掘りを大釜茹でたと筍便

洗われて朝の岳濃き五月かな

朝掘りの筍抱へ子は凱旋

相席の女と立夏の川風に

風薫り水輝きて立夏かな

三田畔巣藤田貞夫

片平るみ

三田畔巣

比護喜一郎

神田尚計

棚野愛子

大久保泰司

神田尚計

片平るみ

川俣栄一

松田博雄



<俳句部会>

6月21(日) 第179回句会 於: 生涯学習センター

兼題:「梅雨」「玉葱」

渓流の闇の深さや河鹿鳴く 川俣栄一

施子の花の香りの重さかな 神田尚計

憂き顔の羅漢もおわし梅雨しとど 棚野愛子

梅雨蝶の数えてゆきし羅漢像 三田畔巣

梅雨晴れ間狭庭を過ぎる白き猫神田尚計

遠くより祭囃子や地酒酌む 大久保泰司



部会だより

<カラオケ部会> 「カラオケを楽しむ会」のご案内

恒例の、夏の「カラオケを楽しむ会」のご案内です。今年も下記のとおり開催いたします。声を出す ことは、日頃のストレスの発散、脳細胞の活性化など老若男女を問わず、健康を保つうえで、お手軽な

ツールであるとともに、ある種の爽快感を満喫できますの で、どなたでもお気軽にご参加いただき、ご一緒に楽しい ひとときを過ごしましょう!

なお、オンチッチの都合により、今後とも、午後 7;30 歌唱開始となりますのでご留意願います。

1. とき 平成27年7月25日(土)

午後7:20集合、7:30開始

2. ところ 『オンチッチ』

市内東本町1-9

TEL:042-477-7333

3. かいひ 4,000円

4. ご連絡 髙柳康夫 TEL: 042-473-3559

携帯: 090-8741-8424

E-mail: y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp



※ご参加の方は、7月24日(金)までに、必ずご連絡いただきますようお願いします。 髙栁康夫記

<映画鑑賞会>

『我が谷は緑なりき』) 9月24日(木) 午後2:00~ 於:成美教育文化会館

前回5月には久しぶりに西部劇『真昼の決闘』を上映し、中高年の女性層に親しまれている会だけに動員が心配でしたが、いつも通りの客数でホッと





しました。ただし、いつもより女性が若干少なく、男性が多かったのが特徴です。ゲーリー・クーパーの大ファンだったというおばさま族が多くびっくりしました。

次回は、7月~8月の暑さを避け、9月24日(木)に設定しています。作品は『我が谷は緑なりき』を予定。名匠ジョン・フォードの絶好調時の代表作でアカデミー最優秀作品賞、監督賞等、数々の賞を受賞しています。内容については、次回「東稲ニュースNo.84」でお知らせいたします。

米光慶二郎記

東稲広報室

<訃報>

- ○会員の山本一男様は、5月22日に「虚血性心不全」のためご逝去されました。6月15日に安次峰会長 と高橋事務局長が弔問いたしました。
- ○会員の村上雅敏様はご逝去され、6月17日の葬儀に安次峰会長他が参列しました。
- ○囲碁部に所属する会員の小仁井勝秀様は6月16日にご逝去され、6月20日、21日の葬儀に囲碁部を中心とする会員が参列しました。

<報告書提出のお願い>

平成26年度に部会補助金を受領した部会は、決算書類を事務局へ提出してください。

<稲門祭グッズ販売のご報告>

稲門祭グッズ「奨学金支援」に、ご協力をありがとうございました。2015 年度目標額 14 万円に対し、 実績は17万4千円(ご協力者52名)と、皆様のご協力により大きく目標金額を上回ることができました。 重ねて御礼申し上げます。 担当:清水正弘 村野建彦

<稲門祭グッズ福引抽選券番号一覧>

10月18日(日曜)の稲門祭に行われる福引の抽選券番号は以下のとおりです。

(2,000円に付1本で、昨年は11本が当選しました。当選者にはお届けします) どうぞお楽しみに! 青柳成彦(550) 安次峰暁(646・647・648・649) 安宅武一(650・651) 鮎貝盛和(652) 池田信一(653) 井坂 宏(654) 石寺美弥子(655) 伊東 毅(656・657・658・659・660・661) 上田敦嗣(662・663) 上原徹也(664・665・666) 大矢真弘(667) 小野泰右(668) 小山田朋樹(669・670・671・672) 梶井琢太(673) 片平るみ(674) 金子孝志(675) 川上昇一(676) 川島知子(677) 川俣栄一(678・679) 河村洋子(680) 神田尚計(681) 吉川明美(682) 久家政宏(683) 呉淳久(684) 小牧完次(685) 三田三(686・687) 清水正弘(688・689・690) 高橋哲男(691・692) 高柳康夫(693) 橘 優治(694・695) 棚野愛子(696・697) 塚越 崇(698・699) 東海俊孝(700・1150) 長東輝夫(2181・2182) 馬場清彦(2183) 比護喜一郎(2184) 菱山房子(2185) 平子敏夫(2186) 平山正徑(2187・2188) 福田 稔(2189) 船津高志(2190・2191) 別処尚志(2192) 帆角信美(2193) 松﨑 博(2194・2195) 松田博雄(2196・2197) 武藤 豊(2198) 村上万里(2199) 村野建彦(2200・2201・2202・2203・2204・2205) 山岡恭子(2206) 山口謙二(2207) 山﨑敬雄(2208) 渡辺真司(2209・2210) (敬称略)

<「ワセジョ落語会」のご案内>

「早稲田文化芸術週間 2015」の一つとして、『ワセジョ落語会』が、早稲田大学文化推進部の主催で10月15日(木)18:00~20:00に開催されます。会場は大隈講堂。

出演は、桂右團治、川柳つくし、柳亭こみち、 特別ゲスト:桃月庵白酒で入場無料。

落語界初、3人の早稲女落語家と早稲男落語家が大隈講堂に集結。OB・現役コラボの落語会です。 メールによる先行入場制で、メールで<151015entry@list.waseda.jp>へ氏名、参加人数を明記して申 し込むと、17:00からの先行入場案内の返信が来るので、このメール返信をプリントして当日持参する と、先行入場チケットとなるとのこと。

〈会員リレーエッセイ〉 ~噴水広場~

ISO って何? — 安全・安心な暮らしのための ISO MS 規格の認証制度 — 第2回

東海 俊孝(44年 政経)

注:この稿は、JABと「消費と生活」から、引用の了解を得て作成しています。 前回は ISO MS(マネジメントシステム)規格とはどのようなものか、についてお話しました。今回は、 この規格の効用を、主として認定・認証の制度の観点よりお話します。

5)ISO 導入企業は品質を向上させる仕組みや手順を持っている

ISO 規格の要求事項に従って活動している企業が生産する製品やサービスは、レベルの高い品質を持っているのでしょうか。 3) と 4) で述べたことを実施していることは、企業が生産する製品やサービスそれ自体を指して、それらが優れたものであると直接的に証明するものではありません。即ち、生産された製品やサービスが高い品質である、環境配慮が万全である、と直接にアピールしているのではありません。しかしながら、それら製品やサービスを生み出す仕組みに着目して、仕組みが良ければ品質の良いものができる、環境配慮ができる筈であるという着眼点から出発しています。

ISO を導入している企業は、消費者への満足と、品質を向上させる仕組み・手順、環境に配慮して保全を向上する仕組み・手順を持っていて、それらがきちんと動いているのだと言えますので、ISO を導入していない企業の製品やサービスと比較した場合、品質レベルはより高く、環境配慮はよりなされていることの蓋然性は格段に高く、且つそれらは継続的に改善して行く可能性がより高いと言うことが出来ると思います。

(注)製品それ自体を直接に保証する制度は、製品認証という別の分野のもので、我が国では殆どが強制法規として政府により行われています。例えば、医薬品、医療機器、自動車の型式認定や車検、飛行機、エレベーター等が代表的なものです。

6)「認証機関」が第三者の目で審査し証明する(認証)ことにより信頼感を得る

さて、一方的に企業が ISO 規格要求通りに実施していると宣言しても、消費者としての私達はそれを 簡単に信用することができるでしょうか。規格通りに実施し、それが有効に働いていることは、企業の 中の人ではなく、信用できる第三者が証明するならば(「認証」すると言う)信頼性が増します。また、 消費者自身が都度企業の手順を確認するというのは、時間的にも専門性の観点でも、現実的には難しい ものです。

そこで、審査技術や製品に係る専門的知識を持ち、消費者に代わって中立な立場で企業の ISO 実行状況を審査して、認証することを専門とする「認証機関」という存在があり、現在、日本国内では数十機関が活動しています。

審査では、まず企業の手順書が ISO 規格の要求事項の意図を的確に理解した内容であるかを確認します(書類審査)。次にその手順書通りに的確に運用しているかをチェックします。注文書、生産計画書・生産指示書、生産・検査や設備保全に関わる記録類、業務担当者の技量評価や研修記録、等を見ることは勿論、生産現場で設備運転・保全、物流を見ますし、業務担当者にインタビューもします。こうしたことを行う審査の結果として、第三者が客観的に確認し証明する(認証)ことで、信頼感を得ることが

できます。この審査は、一回限りではなく、毎年繰り返され(サーベイランス審査)、3年を1サイクルとして初回の審査と同じ審査(更新審査)をしますので、その場しのぎでごまかすことはできません。では審査したところ、「ちゃんと実行していなかった」という問題が見つかったらどうなるのでしょうか。これは審査員に「指摘」され、指摘事項は全て直さなければ、認証を続けていくことはできないという仕組みになっています。しかも審査では問題点を指摘するだけで、どう直したらいいかの具体的なアドバイスは一切しません。(この点は、「指導」が行われる国の許認可と異なります) 問題点は自分たちで考え、直していくことが本当の意味の改善であり、自律した活動となる他、審査の公平性を担保できるからです。

審査において指摘されることを嫌がる企業もあるようですが、企業自身が気づかなかった問題点を外部から言われたら、「目からうろこ」であり、企業が良くなる可能性がまだ残っていた、と置き換えることもできます。気づかなかった問題を解決すれば、企業は更に成長することができます。一方、審査では、良い点の指摘もできるので、企業自身の強みを知ることもできます。第三者による審査・認証は、企業にとっても利するところが多いと思われます。

(注) ISO マネジメントシステム規格の認証マーク

製品を直接に認証するものではありませんので、認証マークを製品に直接に表示することはできません。マークの表示例は、広告や製品を入れた箱に ISO9001 認証マークを表示している、製品に関わる部署の担当者の名刺に表示、他があります。

7)ISO MS(マネジメントシステム)規格の認定・認証制度の仕組み

先ず、「認定機関」の話から始めます。認証機関は、消費者 (購入者) に代わって審査するのですから、審査できる能力 (公正に行うことを含む) があることが必須です。でも誰が、認証機関の審査結果が信頼できるものであることを保証してくれるのでしょうか。この役割を果たすものとして「認定機関」があります。認定機関は、認証機関の能力を審査 (認定審査) によって評価し、能力があると認められたところに「認定」を与えるという仕事をしています。認定機関は世界各国にそれぞれあり、自国の認証機関以外に外国の認証機関の認定も行っています。消費者にとって信頼に足る認定機関なら国籍は不問です。

日本で、品質と環境の認証機関の認定活動を行っている唯一の機関は「公益財団法人 日本適合性認定協会(略称「JAB」)であり、認証機関が適切な能力をもっているかを認定機関として認定審査することで、認証機関の信頼性を保持し、高めています。

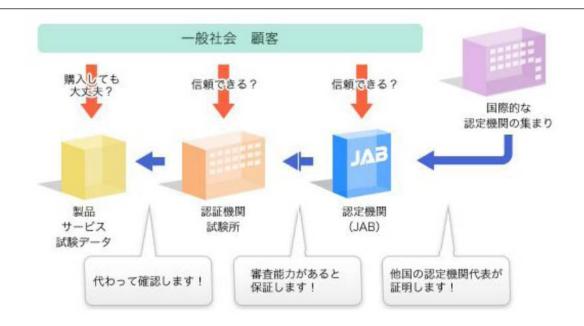
更に、JABも認定機関としての能力をもっているか、世界の中で定期的に繰り返される審査を受けており、制度全体として、二重、三重のチェック機能で消費者の安全・安心を堅固なものにしているのです。認定機関は、認定機関の国際的な集まりの中で、相互に審査し合って、お互いのチェックをしています。この作業を国際相互承認と呼び、審査の結果、認定機関として能力が認められると、「国際相互承認メンバー」と呼ばれることになります。

【信頼感の構図】

これまでのお話を下図にまとめました。

- ・企業は製品を作ったり、サービスを提供しています。これらに対し ISO 9001 や ISO14001 などを認証します。(「代って確認します!」)
- ・認証を行う認証機関などは認定機関によって認定を受けます。(「審査能力があると保証します!」)
- ・認定機関は国際的な認定機関の集まりのメンバーから審査されます(「他国の認定機関代表が証明します!」)。

この二重三重のチェック機能が働いていることで、消費者は企業/認証機関/認定機関 それぞれに対して信頼感をもつことができます。



【認定、認証 こぼれ話】

従来、日本では、認証、認定について、両方の言葉が区別して使用されていませんでした。これは ISO による用語で、簡単に言えば、次のようなことです。

認証:規格の要求事項を満足している(適合している)ことを証明する

認定:認証する能力がある(公正に行うことを含む)ことを証明する

そもそも、日本には、ISOでいう認定機関なる概念がなかったので、認証についても認定という言葉が一般的に使われているようです。

ところで、第1回でISOMS認定・認証制度は民間の制度であると説明しました。従って、この制度は日本の法律に裏付けられたものではありません。認定機関も認証機関も、ISOの規格を使って認定、認証の仕事をしたければ、誰でも行うことができます。但し、ポイントはそうした機関が社会において信頼を得ることができるか否かです。JABは、日本に認定・認証制度が必要であり、政府でなく民間の制度として創設することについて、当時の通産省と経団連が合意して、経団連が創設した経緯もあり、日本の社会で認められてきた(権威付けられてきた)と考えています。

最後に、品質や環境以外にも、MS 規格の認定・認証制度がありますので、その主なものをご紹介しておきます。(JAB は、下記の全ての認定を行っています)

- ・試験所認定制度:物の化学分析や物性の分析を行っている試験所の認定
- ・臨床検査室の認定制度:血液、尿等の病院等で採取される試料を分析する機関の認定
- ・より専門性が要求される分野の MS の認定・認証制度: 各分野別に制度がある

食品安全衛生、航空宇宙(航空機)、医療機器、エネルギーMS、情報セキュリティ

- ・温室効果ガス削減の妥当性確認・検証機関の認定
- ・要員認証機関(ISO MS 規格の審査員の認証をする機関等)の認定

以上

<編集後記>

7月7日は小暑。この日から立秋までの間が書中見舞いを出す時期。ただ小暑を過ぎてもまだ梅雨の日が続いているときは、梅雨明けを待って出すのがよいようで。さて、懸案事項であった、当会の会計処理方法の成文化を検討して来ましたが、「会計処理規則」として纏まりつつあります。